

ホールボディカウンタ受検者を対象とした健康相談（南相馬市の渡辺病院）

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い放射性セシウム等の放射性物質が拡散し、土壌等に沈着した状態が続いています。福島県内の宅地や農地等では除染が進み、福島県産の農作物は国により定められた基準に従って検査が行われ、安全なものだけが市場に流通しています。しかし、福島県の住民の方々は、ご自身の体内に放射性物質が取り込まれているかどうかを測定し、健康に影響がないことを確かめたいというご希望があります。南相馬市の渡辺病院ではこのような住民の不安の解消のために、ホールボディカウンタ（WBC）により体内の放射性物質（セシウム 134 とセシウム 137）の測定を行っています。渡辺病院では、WBC で検出限界以上の放射能が検出された住民等を対象として、月に 1 回ないし 2 回の頻度で健康相談を実施しております。私は 2013 年 7 月より、この健康相談を担当させていただいております。

私が健康相談を担当して以降、国によって定められた基準を上回る方はいらっしゃいません。全ての方は検出限界を少し上回っただけで、健康影響の心配は全くありません。しかし、大部分の住民が検出限界以下である現状では、あたかも“検出限界”が健康影響に関する基準値であるかのように誤解され、放射能が検出された住民の皆様は不安に感じられています。健康相談では、検出限界は基準値ではないことをご説明すると共に、体内の放射エネルギーを減少させる食生活等についてご説明しています。



南相馬市渡辺病院における健康相談